

名古屋市と京都市との財政比較表

Table showing financial comparison between Nagoya and Kyoto for the year 1959. It includes columns for '年度別' (Yearly) and '市別' (City), with sub-columns for '昭和32年度決算額' (1959 Actuals) and '昭和33年度当初予算' (1960 Budget). Rows list various income and expenditure categories like '総収入' (Total Income) and '総支出' (Total Expenditure).

Table showing financial comparison between Nagoya and Kyoto for the year 1959. It includes columns for '年度別' (Yearly) and '市別' (City), with sub-columns for '昭和32年度決算額' (1959 Actuals) and '昭和33年度当初予算' (1960 Budget). Rows list various income and expenditure categories like '総収入' (Total Income) and '総支出' (Total Expenditure).

名古屋市と京都市の直接税負担額 (1世帯当り) 比較表

Table comparing direct tax burden per household between Nagoya and Kyoto for 1959. It lists '区分' (District) and '市別' (City), with columns for '1世帯当りの負担額' (Burden per household) and '1人当りの負担額' (Burden per person).

名古屋市と京都市との市税調定額比較表

Table comparing municipal tax rates between Nagoya and Kyoto for 1959. It lists '税目' (Tax Item) and '市別' (City), with columns for '件数' (Number of items), '金額' (Amount), and '率' (Rate).

Table titled '町の人口' (Town Population) showing population statistics for 1959, including '世帯数' (Number of households) and '人口' (Population) by gender and age group.

愛知縣鳴海町視察報告書 第二班

本町は、明治二十二年鳴海町として発足、現在人口二万四千五百七十七人、世帯約五千三百世帯、面積約七〇〇ヘクタールに達しているが、本町が二十ヶ町村であったころ、逐次市に編入現在は、本町、豊明、長久手、日進の各町と本町の五ヶ町村が編入されている。本町は隣接する知多郡有松町とよみ、なるみしほり、の本郷として、つとに知られた町であるが、昭和初年以降、名古屋市の郊外住宅地として急激に発展している。二十三年度当初予算八千五百四十九万円、内税六千二百六十九万円であるが、町民の個人分は約二千五百万円にして内八五割は給与生活者、一五割は農工商業者が負担している点より観察しても住宅地としての急激な発展が観察されている。

天白村 (34.3.2視察)

一般会計の総額は、現在すでに約五千万円を超えているため、公債費計上を要する。列子三百万五千万、償還金約二百万円を要している。このような財政事情から、従前懸念、土木方面に相当予算を支出していた(二十三年度予算六百五十万円)が、今日では借入金等の増進により削減する事が望みである。これに対し、個人分に対しては、多額の住民負担増成の意向であった。理由としては、財政が行き詰りつつある事、即ち、現在の予算は、三十二年十二月竣工、工費約三千六百万円のうち二千二百五十万円は借入金である。又、住宅公園が約一千戸の住宅を建設するが、これにより小学校を一般新設するに際して、建設費は借入金によるもの、その償還に懸念を抱いている。この償還を充当して整理するべきであるとの見解である。

大阪府 藤井寺町 道明寺町 (33.12.12日視察)

藤井寺町、道明寺町は、瀬田内川の北側に位置し、人口は藤井寺町一万三千五百八十八人、道明寺町は推定人口約九千八百五十人(昭和三十一年一月一日調査)である。藤井寺町は、昭和二十九年九月市域拡大で財政規模として、藤井寺町の約二億八千万円、道明寺町は、約一億四千四百万円、内税は、約七千九百万円、内税は、約四千九百万円、内税は、約二千九百万円、内税は、約一千九百万円、内税は、約九百万円、内税は、約四百九十万円、内税は、約二百四十五万円、内税は、約一百二十万二千五百円である。

